

「野生生物と交通」研究発表会は、個々に扱われがちな「野生生物」と「交通」に関する知識の情報交換の場として、2002年より開催しております。第18回目となる今回は、2019年2月19日に開催させていただく運びとなりました。

自動車、鉄道、飛行機、船舶等の交通機関は技術的な進歩を続け、人や物の大量・高速輸送も拡大しています。このような交通技術の発展は、野生動物と人間活動との接触機会を増やし、結果として様々な影響が顕著化しています。

エゾシカと自動車、鳥類と飛行機の衝突事故などはその例であり、野生生物保護と交通安全両面への課題になっています。また、外来生物による生態系への影響が懸念され、緑化活動においても極力自生種を導入することなどが求められています。

野生生物と交通に関わる諸問題は、異分野間にまたがる学際的な研究テーマでありながら、その情報交換の機会が極めて少ないのが現状です。貴重なこの機会に、多くの方々からご参加いただき、活発な情報交換の場としてご活用下さいますようお願い申し上げます。

(一社)北海道開発技術センター 理事長 山口 登美男

- 主催 一般社団法人 北海道開発技術センター
 共催 一般社団法人 エゾシカ協会
 公益財団法人 北海道環境財団
 アニマルパスウェイ研究会
 一般社団法人 アニマルパスウェイと野生生物の会
 一般社団法人 シーニックパイウェイ支援センター
- 協力 エコ・ネットワーク
 後援 国土交通省北海道開発局
 国土交通省北海道運輸局
 北海道
 東日本高速道路株式会社北海道支社
 北海道旅客鉄道株式会社
 国立大学法人 帯広畜産大学
 一般社団法人 日本福祉のまちづくり学会北海道支部



会場：札幌市民交流プラザ 3F
 クリエイティブスタジオ

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西1丁目
 TEL 011-271-1000

札幌市民交流プラザへは…

- ・JR/JR「札幌」駅南口から徒歩約10分
- ・市電/市電「西4丁目」駅から徒歩約12分
- ・地下鉄/札幌市営地下鉄東西線、南北線、東豊線「大通」駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結 徒歩約2分
- ・バス/「時計台前」または「北1条」停留所から徒歩約2分

お申し込み・お問い合わせ

一般社団法人北海道開発技術センター内
 「野生生物と交通」研究発表会係

(担当：向井奈由美、野呂美紗子、鹿野たか嶺)

〒001-0011
 札幌市北区北11条西2丁目2-17 セントラル札幌北ビル 3F
 一般社団法人 北海道開発技術センター内

電話：011-738-3363
 F A X：011-738-1890
 E-mail: wildlife@decnec.or.jp
 Web: http://www.wildlife-traffic.jp/

第18回

「野生生物と交通」
 研究発表会

プログラム

日時：2019年2月19日(火) 10:30 ~

札幌市民交流プラザ 3F
 クリエイティブスタジオ

聴講無料



SYMPOSIUM ON WILDLIFE AND TRAFFIC 2019 第18回「野生生物と交通」研究発表会

SYMPOSIUM ON WILDLIFE AND TRAFFIC 2019 全体スケジュール		12:25-14:00	パネル展示PRおよび昼食
10:30	開会・挨拶	14:00-15:20	第2分科会
10:40-11:20	特別講演	15:25-15:40	報告
11:25-12:25	第1分科会	15:40-16:00	休憩
		16:00-17:00	第3分科会
		17:30	懇親会

特別講演 10:40-11:20

～ Bear jam から MaaS ～
知床におけるクマ渋滞とその解決に向けた取り組み、
そして将来展望 石名坂 豪(公益財団法人 知床財団)

第1分科会(ロードキル) 11:25-12:25

座長：築瀬 知史(東日本高速道路株式会社 東北支社)

11:25 オーバーツーリズムとロードキル
|
11:45 ー沖縄県を中心としてー
○辻 維周(岡山理科大学)

11:45 住民参加による富士山麓のロードキル情報収集と
|
12:05 観光地として取り組むべき必要性
○舟津 宏昭(富士山アウトドアミュージアム)

12:05 春期のエゾシカロードキルと積雪との関係
|
12:25 ○阿部 正明(一般社団法人 北海道開発技術センター)
佐藤 金八(一般社団法人 北海道開発技術センター)
野呂 美紗子(一般社団法人 北海道開発技術センター)

パネル展示PR および 昼食 12:25-14:00

第2分科会(ロードキル対策) 14:00-15:20

座長：山田 守(SPTec・YAMADA/日本特殊緑化協会)

14:00 超音波を利用したエゾシカと
|
14:20 車両の衝突回避に関する一考察

○松崎 博季(北海道科学大学)
真田 博文(北海道科学大学)
和田 直史(北海道科学大学)

14:20 高速道路の新規路線における動物侵入対策
|
14:40

○河嶋 道子(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社)
堀本 恭平(中日本高速道路株式会社 東京支社)
工藤 和紀(中日本高速道路株式会社 東京支社)
加藤 一彦(中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社)

14:40 ワンウェイゲート機能の検証と新たな試み(続報)
|
15:00

小松 伸幸(丸菱金属株式会社)
三好 英雄(株式会社 不二木材)
西山 登志行(環境資材有限公司)
本間 和明(株式会社 丸菱)
○三好 真三詩(たいき農林)
柳川 久(帯広畜産大学)

15:00 生体を対象としたロードキル発生予測：
|
15:20 防風林との関係性はあるのか(予報)

○吾田 佳穂(帯広畜産大学)
浅利 裕伸(帯広畜産大学)

報告 15:25-15:40

Infra Eco Network Europe (IENE) 2018 in the Netherlands 参加報告

野呂 美紗子(一般社団法人 北海道開発技術センター)

休憩 15:40-16:00

懇親会のご案内

日時：2月19日(火) 17:30～
場所：札幌市民プラザ2F RESTAURANT DAFNE(レストランダフネ)
会費：4,000円 申込締切：2月12日(火)
申込：お名前、ご所属、ご連絡先を明記の上、E-mailまたはFAXにて
事務局までお申し込みください。

第3分科会(保全・緑化) 16:00-17:00

座長：浅利 裕伸(帯広畜産大学)

16:00 自治体庁舎前路上および
|
16:20 橋梁直下放牧場等の死体剖検事例

谷口 萌(酪農学園大学)
○浅川 満彦(酪農学園大学)

16:20 シカ被害地における客土注入マット工を用いた
|
16:40 道路法面緑化の植生モニタリング

○山田 守(SPTec・YAMADA/日本特殊緑化協会)
葛浦 哲也(株式会社 アヤメ緑化工業)
片倉 壽光(株式会社 アヤメ緑化工業)
富川 貞仁(日本特殊緑化協会)
松尾 直幸(国昭建設株式会社)

16:40 恵山つつじ公園で発生している
|
17:00 ツツジ類へのエゾシカによる食害

○重松 琢和(株式会社 構研エンジニアリング)
中国 美紀(株式会社 構研エンジニアリング)
中島 有一(株式会社 構研エンジニアリング)
丸山 立一(株式会社 構研エンジニアリング)

17:30-19:30 懇親会

パネル展示

- ・酪農学園大学野生動物医学センターの役割 酪農学園大学
- ・lot 自動撮影カメラ 株式会社 ハイク
- ・農業共生圏高度専門家育成事業の取り組み 帯広畜産大学
- ・シカ被害を考慮した法面緑化工法(バイオ・オーガニック・ディア工法) 日本特殊緑化協会
- ・獣害対策グレーチング付U字溝「わたれません」 株式会社 赤城商会
- ・富士山麓ロードキル調査活動成果 富士山アウトドアミュージアム
- ・鹿ソニック(ロードキル)対策製品について 有限会社 T.M.WORKS
- ・ファームキャプチャー ファームエイジ株式会社
- ・アニマルパスウェイの普及と現状 (一社)アニマルパスウェイと野生生物の会
- ・日鐵住金建材株式会社 誘鹿材(ゆうかざい)エコル